

第 11 回「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」議事要旨（案）

日 時 平成 19 年 7 月 26 日（木） 10：30～12：40  
場 所 東海大学校友会館 33F「望星の間」  
出席者 森嶋座長、青木、飯沼、池田、大平、小幡、白幡、高松、田中、伴野、中村、  
沼田、花井、溝口、宮本各委員、（欠席：真崎、三星各委員）  
清水WG座長、高野、高橋、三村各WG構成員  
（事務局）  
関血液対策課長、植村血液対策企画官、藤井需給専門官 他

議 題

- 1 前回議事要旨の確認
- 2 血液事業の動向について
- 3 ワーキンググループからの報告について
- 4 血漿分画製剤の製造体制の在り方について
- 5 その他

議事概要

<血液事業の動向について>

- ・事務局より、平成 18 年度の血漿分画製剤の需給状況（速報値）及び主な血漿分画製剤（アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固第Ⅷ因子製剤）の供給量、自給率等の資料が報告された。

<血漿分画製剤の製造をめぐる当面の課題に関するワーキンググループからの報告について>

- ・清水WG座長及び事務局よりワーキンググループの報告について説明があり、検討会としてその内容について討議した。
- ・WGの報告について、それぞれの課題ごとに関係者は実行可能なところから具体的な検討を進めてもらいたい旨の意見があった。

<血漿分画製剤の製造体制の在り方について>

- ・事務局から示された本検討会がとりまとめる報告書の骨子案について、各委員より意見があった。森嶋座長より、各委員に対して、骨子案に関する追加意見は、後日、事務局に連絡いただくこととし、それらを踏まえ、次回の検討会までに報告書の案を座長と事務局とで相談することとされた。

<次回の検討会>

- ・次回は、9月中旬に開催し、「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会報告書（案）」に関する議論を行うこととされた。